

2016.11 タウンミーティング

**「義務教育学校  
(小中一貫教育)について」**

**王 寺 町**

# 第1章

## 義務教育学校(小中一貫教育)とは

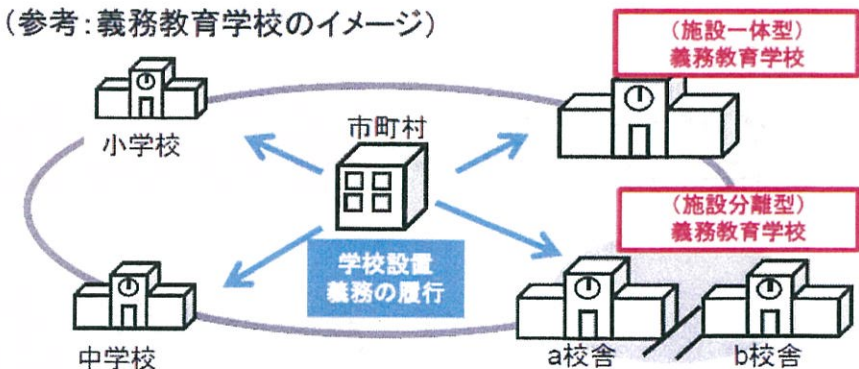


# 義務教育学校の制度設計

◎ 1人の校長の下、原則として小中免許を併有した教員が9年間の一貫した教育を行う新たな学校の種類として、義務教育学校が学校教育法に位置付けられた。（平成28年4月1日施行）

|          |                                                                                                                                                                                     |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 修業<br>年限 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9年</li> </ul> <p>（ただし、転校の円滑化等のため、前半6年と後半3年の課程の区分は確保）</p>                                                                                   |
| 教育<br>課程 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9年間の教育目標の設定、9年間の系統性を確保した教育課程の編成</li> <li>・ 小・中の学習指導要領を準用した上で一貫教育の実施に必要な教育課程の特例を創設</li> </ul> <p>（一貫教育の軸となる新教科創設、指導事項の学年・学校段階間の入れ替え・移行）</p> |
| 組織       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人の校長</li> <li>・ 一つの教職員組織</li> <li>・ 教員は原則小・中免許を併有</li> </ul> <p>（当面は小学校免許で小学校課程、中学校免許で中学校課程を指導可能としつつ、免許の併有を促進）</p>                        |
| 施設       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の一体・分離を問わず設置可能</li> </ul>                                                                                                                |

（参考：義務教育学校のイメージ）



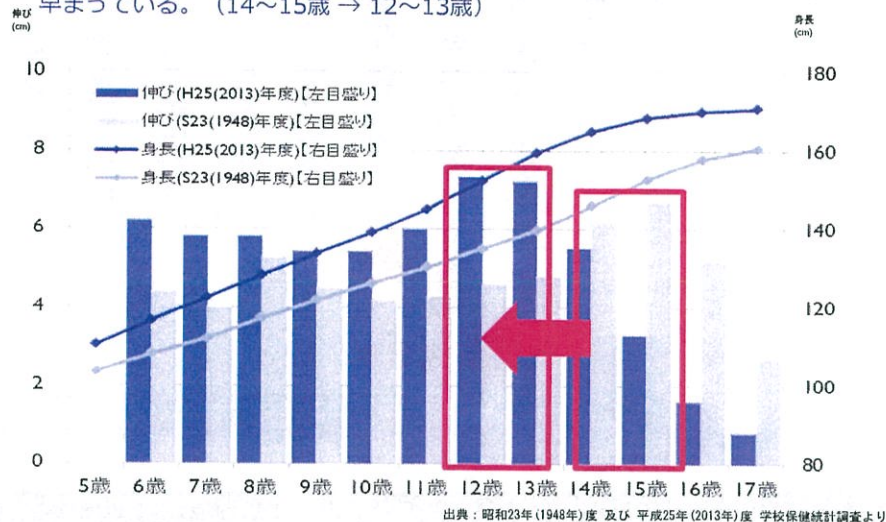
- ①教育基本法、学校教育法の改正による  
義務教育の目的・目標規定の新設
- ②近年の教育内容の量的・質的充実への対応
- ③児童生徒の発達の早期化等に関わる現象
- ④中学校進学時の不登校、いじめ等の急増  
など、中1ギャップへの対応
- ⑤少子化等に伴う学校の社会性育成機能の  
強化の必要性



### ③児童生徒の発達の早期化等に関わる現象 (1)

#### 男児の身長平均値

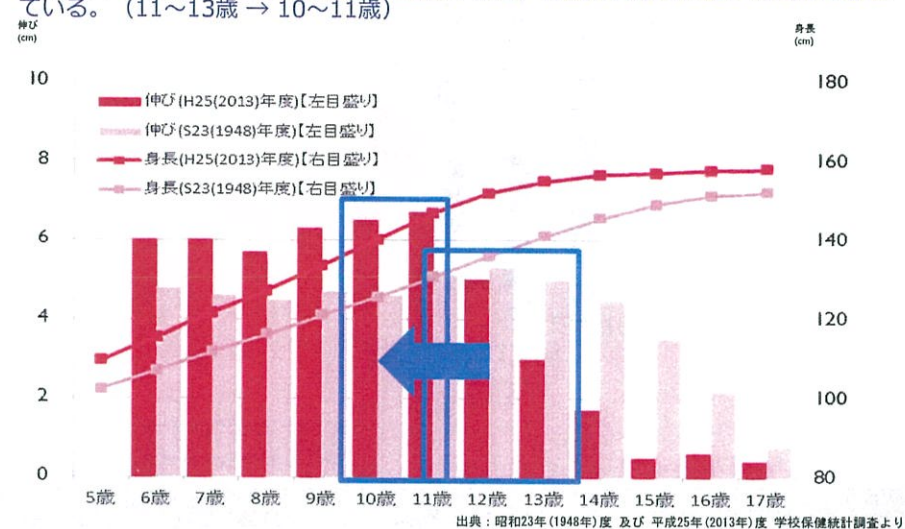
昭和23年と平成25年との変化を比較すると、身長の伸びの大きい時期が早まっている。(14~15歳 → 12~13歳)



### ③児童生徒の発達の早期化等に関わる現象 (3)

#### 女児の身長平均値

昭和23年と平成25年との変化を比較すると、伸長の伸びの大きい時期が早まっている。(11~13歳 → 10~11歳)

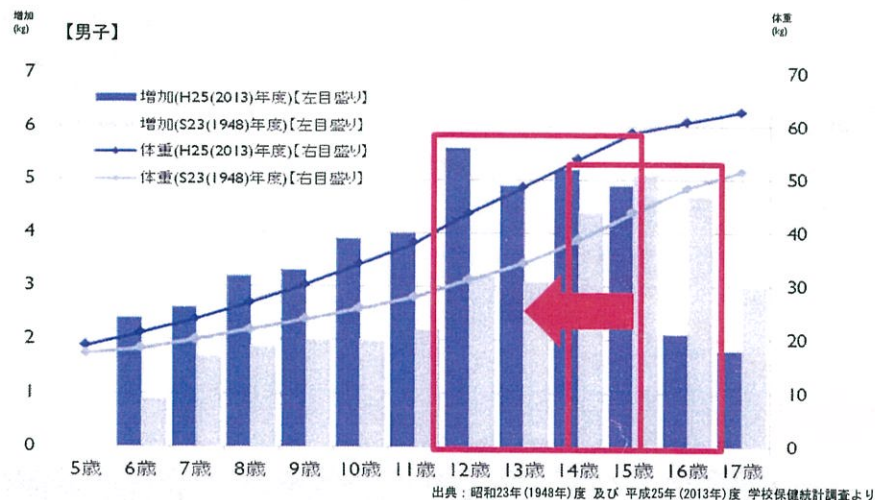


4

### ③児童生徒の発達の早期化等に関わる現象 (2)

#### 男児の体重平均値

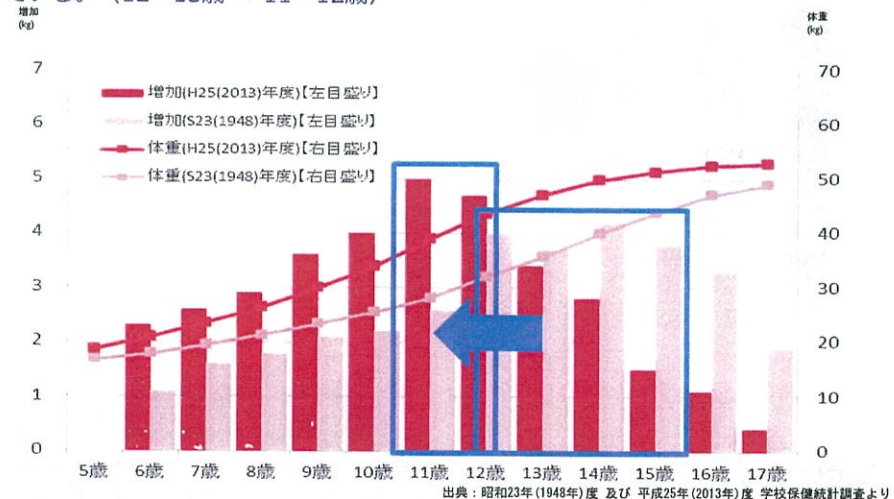
昭和23年と平成25年との変化を比較すると、体重の伸びの大きい時期が早まっている。(14~16歳 → 12~15歳)



### ③児童生徒の発達の早期化等に関わる現象 (4)

#### 女児の体重平均値

昭和23年と平成25年との変化を比較すると、体重の伸びの大きい時期が早まっている。(12~15歳 → 11~12歳)





#### ④中1ギャップへの対応(1)

中学校

- 学級担任制
- きめ細かく指導・クルーフ学習
- 単元テスト重視、意欲・関心・態度の重視
- 緩やかな生徒指導
- 部活動なし



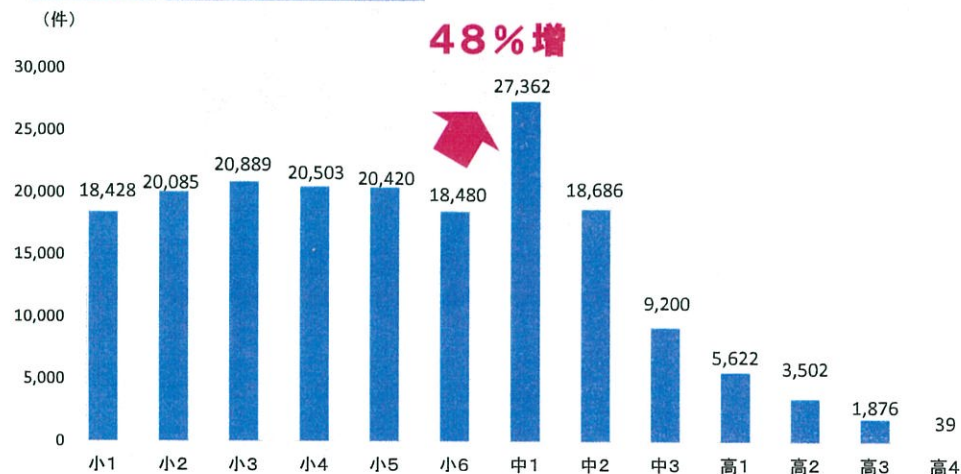
小学校



- 教科担任制
- 板書が多い、スピードが速い、教師主導型
- 定期考査重視、知識技能重視
- より厳しい生徒指導
- 部活動あり
- 他の小学校からの進学者との新たな人間関係

#### ④中1ギャップへの対応(2)

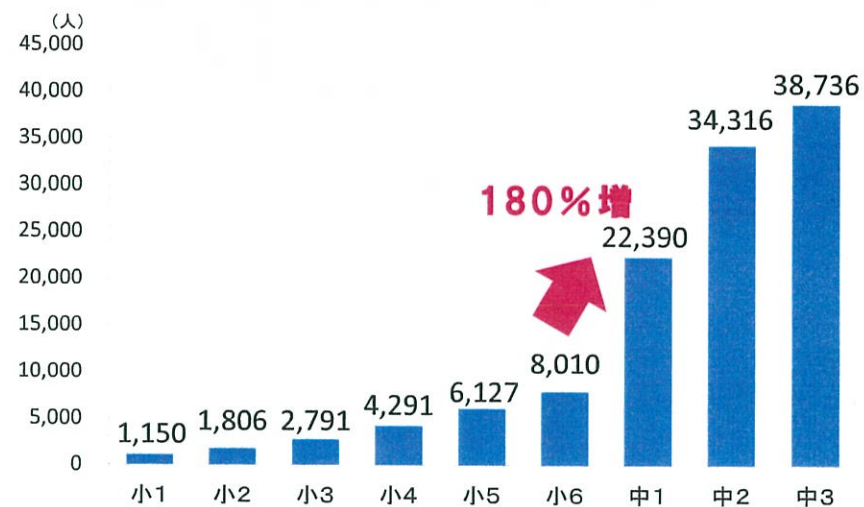
学年別いじめの認知件数



出典:平成25年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(文部科学省)

#### ④中1ギャップへの対応(3)

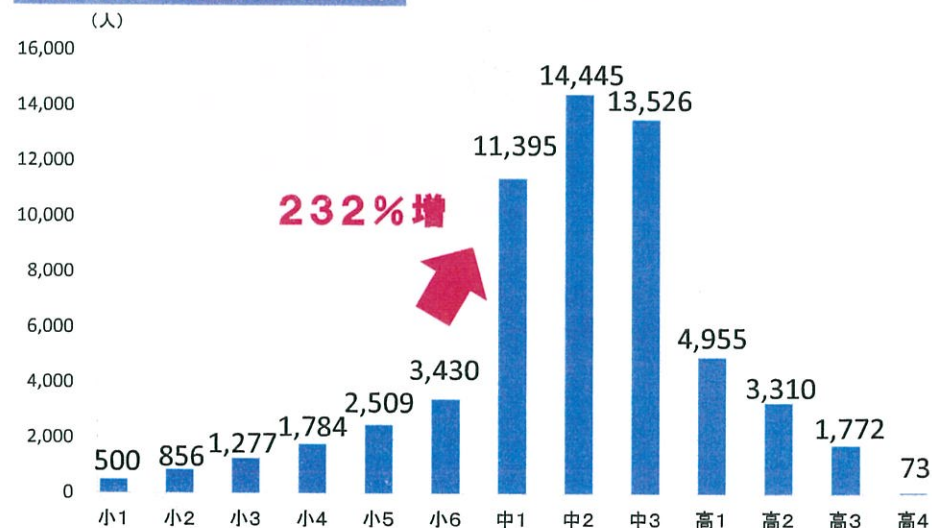
学年別不登校児童生徒数



出典:平成25年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(文部科学省)

#### ④中1ギャップへの対応(4)

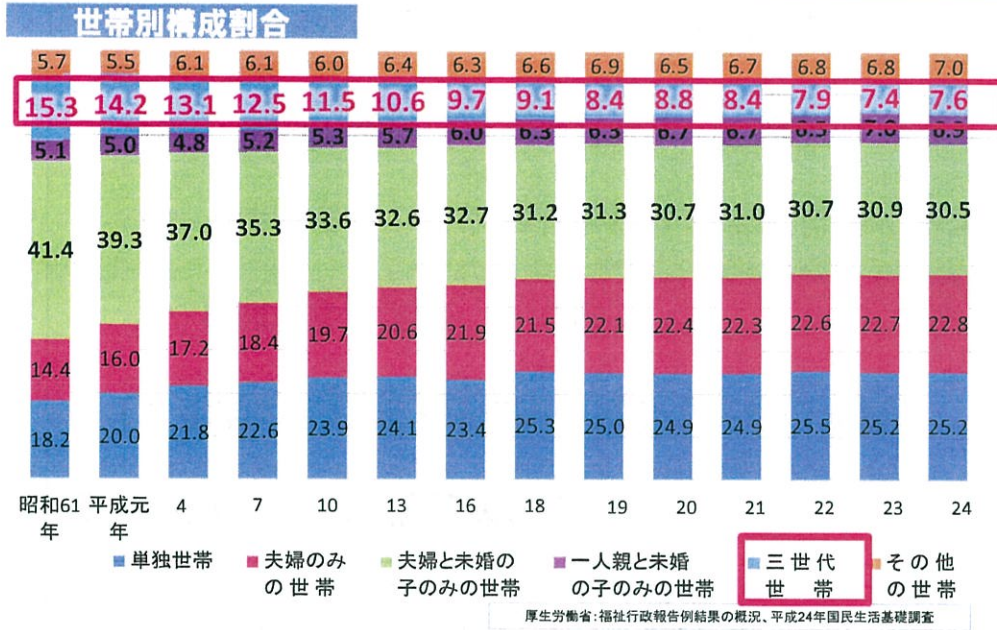
暴力行為の加害児童生徒数



出典:平成25年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(文部科学省)

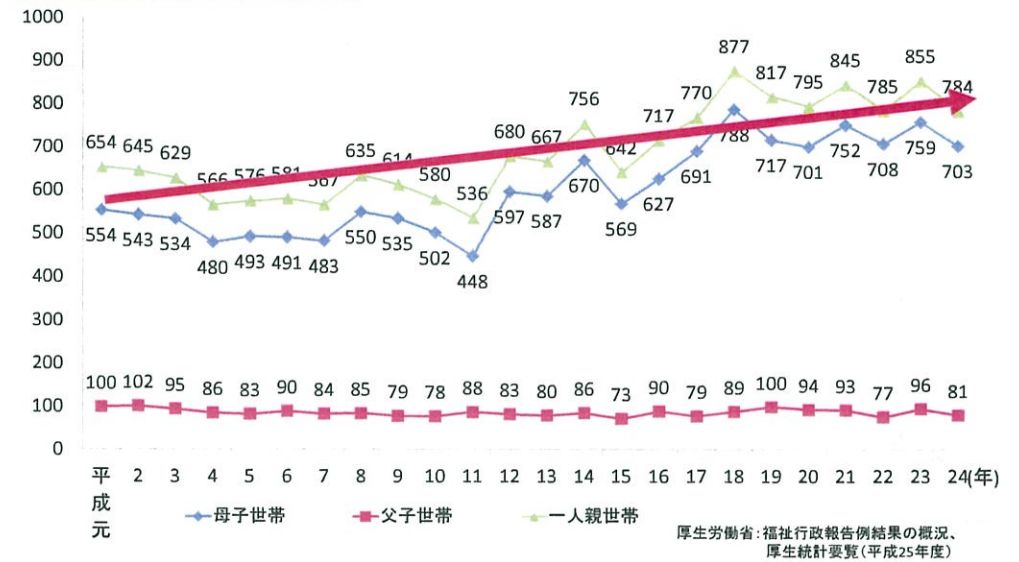


## ⑤学校の社会性育成機能の強化の必要性(1)



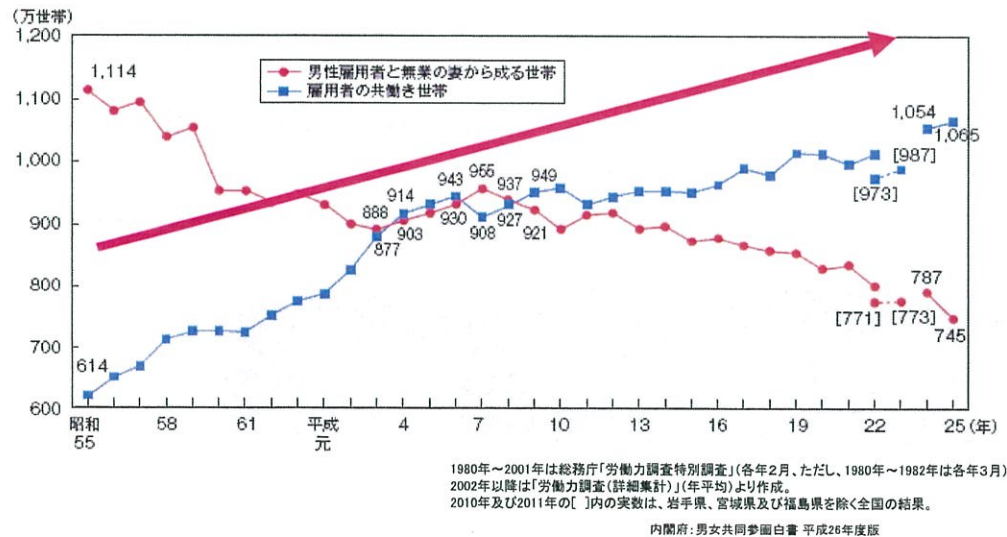
## ⑤学校の社会性育成機能の強化の必要性(3)

### 母子・父子世帯の推移 (千世帯)



## ⑤学校の社会性育成機能の強化の必要性(2)

### 共働き世帯数



# 小中一貫教育等についての実態調査の概要 ①

調査対象：全国の小中一貫教育を実施する国公立小・中学校

調査時点：平成26年5月1日

## 1 実施状況について

- 実施件数 1130件  
(小学校2284校、中学校1140校)
- 実施市町村 211市町村 (全市町村の約12%)

## 2 施設形態について

- 施設一体型 148件 (13%)
- 施設隣接型 59件 (5%)
- 施設分離型 882件 (78%)



## 3 教育課程・指導方法について

### 【9年間の系統性・連続性の確保のための取組】

- 合同行事の実施 (70%)
- 9年間をひとまとまりと捉えた学校目標の設定 (47%)
- 9年間の系統性を整理した小中一貫カリキュラムの作成 (52%)
- 9年間を見通した学習・生活規律の設定 (51%) 等 ※重複回答

## 4 学年段階の区切りについて

- 6-3: (72%)
- 4-3-2: (26%)
- 5-4、4-5: (0.3%)



## 小中一貫教育等についての実態調査の概要 ②

### 5 成果・課題について

#### ○ 成果が認められる88%

- ① 中学校進学に不安を覚える児童が減少
- ② 中1ギャップが緩和された
- ③ 小・中の教員間で協力して指導に当たる意識が向上
- ④ 小・中で共通で実践する取組が増えた
- ⑤ 小・中で互いの良さを取り入れる意識が高まった

#### ○ 課題が認められる87%

- ① 教職員の負担感・多忙感の解消
- ② 小・中の教職員間での打ち合わせ時間の確保
- ③ 小・中合同の研修時間の確保

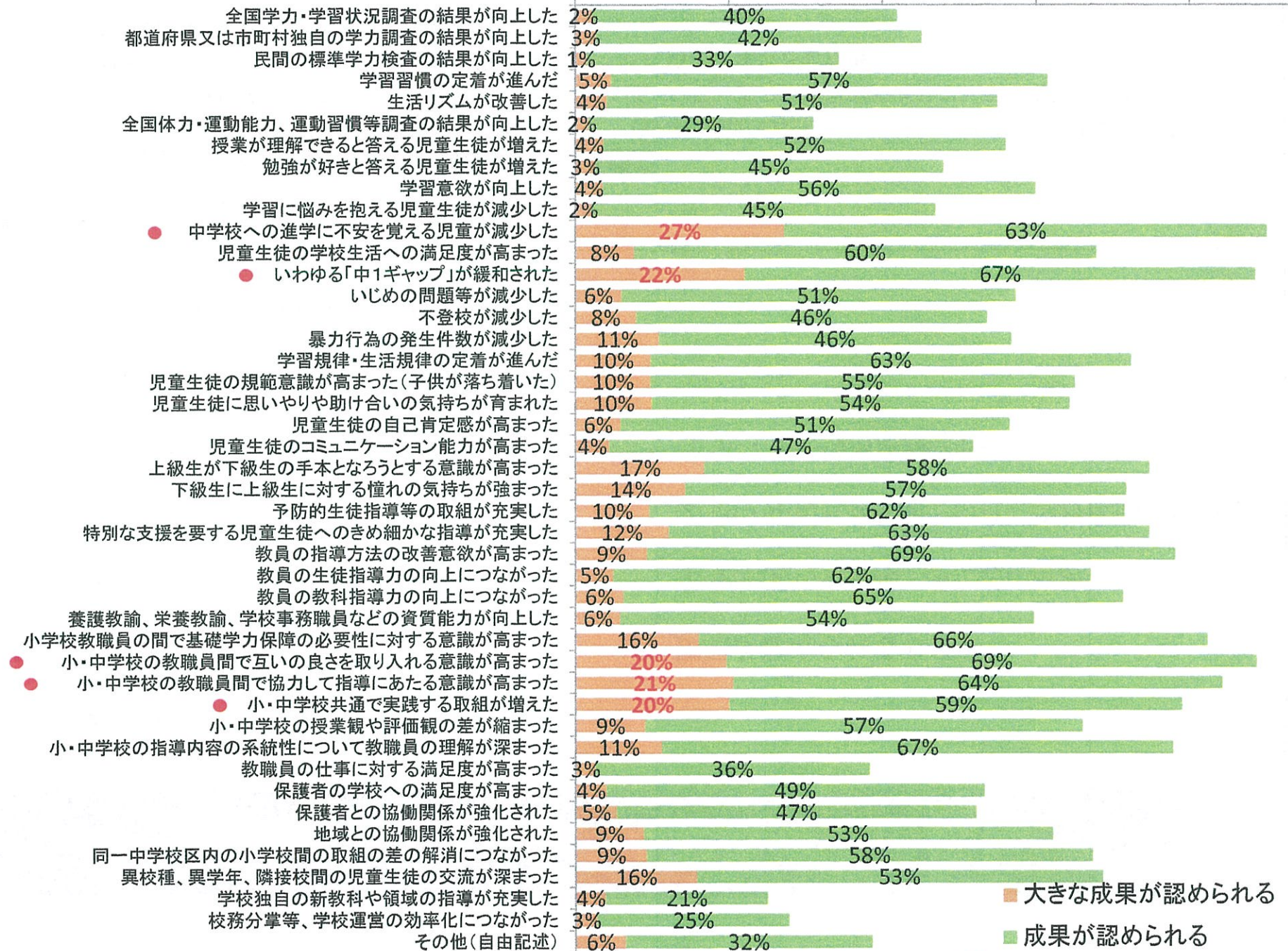
### 6 効果的な一貫性の確保の取組について

#### ○ 以下の取組の方が「成果が認められる」回答が上昇する傾向

- ① 取組の開始から一定程度年数が経過している場合
- ② 小学校における教科担任制を導入した場合
- ③ 小・中学校教員の乗り入れ授業を実施した場合
- ④ 1人の校長が小・中学校を兼務した場合
- ⑤ 学年段階の区切りを4-3-2などに変更した場合
- ⑥ 9年一貫の教育目標やカリキュラムを導入した場合
- ⑦ 施設一体型とした場合



# 小中一貫教育の成果



※「大きな成果が認められる」の回答が特に多い項目については●で示している。

N=1130(小中一貫教育実施件数)

出典: 文部科学省 小中一貫教育等についての実態調査



# 王寺町 義務教育学校課程のイメージ

校長1名・副校長(総括)1名・副校長2名

前期課程(6年)

後期課程(3年)

小学校学習指導要領を準用

中学校学習指導要領を準用

**課程特例** : 小中一貫の軸となる独自教科(ふるさと科、英語科(幼稚園～中学校12年間))

前期(1～4年)・中期(5～7年)・後期(8～9年) 各ブロックのリーダー学年を節目として、9年間の成長の連続性の中で児童生徒を育てる。

4

3

2

教科担任制、期末考査

重点的な進路指導

上級生が下級生の「あこがれ」の存在となるよう節目を大切に「たて」の関係をつなぐとともに、信頼し合える「よこ(同学年)」の関係をつなぐ。

部活動

入学式

2分の1  
成人式

小学校課程  
修了式

中学校課程  
立志式

卒業式

1

2

3

4

5

6

7

8

9年生

基本理念 夢と希望に向かって輝け瞳 明日を担う王寺っ子

～ 一日生きることは 一歩すすむことでありたい ～

- 1 王寺を誇る心を育む：誇
- 2 確かな学力を育む：知
- 3 豊かな人間性を育む：徳
- 4 たくましく健やかな体を育む：体
- 5 地域とのふれあいを推進：和



## 第2章

# 王寺町の小・中学校の現状 について



# 小学校区図

現在小学校区  
H28. 5. 1現在

王寺北小学校

現在

306人

王寺小学校

現在

537人

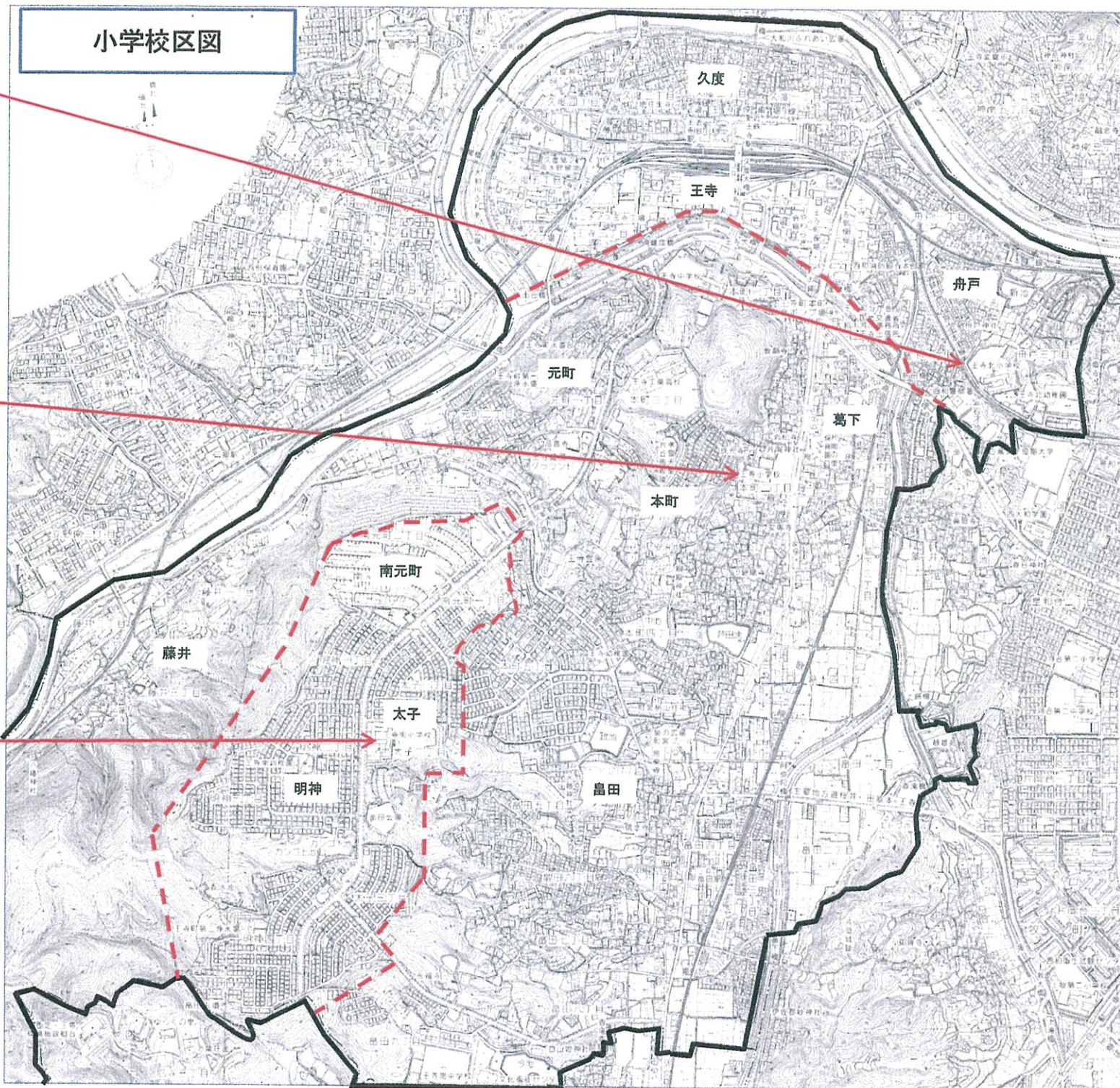
王寺南小学校

現在

323人

現在合計

1,166人





# 中学校区図

現在中学校区  
H28. 5. 1現在

王寺中学校

現在

322人

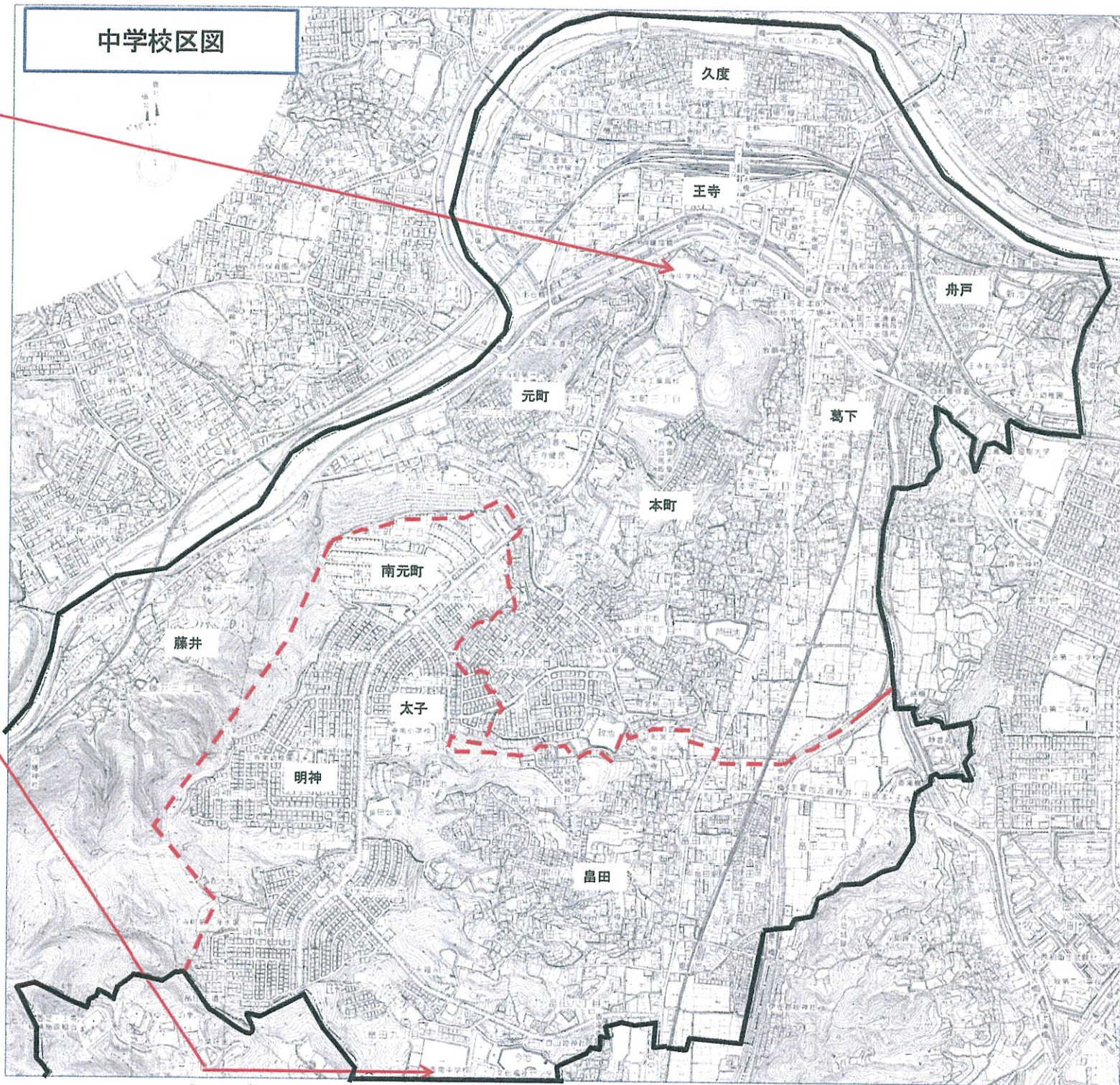
王寺南中学校

現在

193人

現在合計

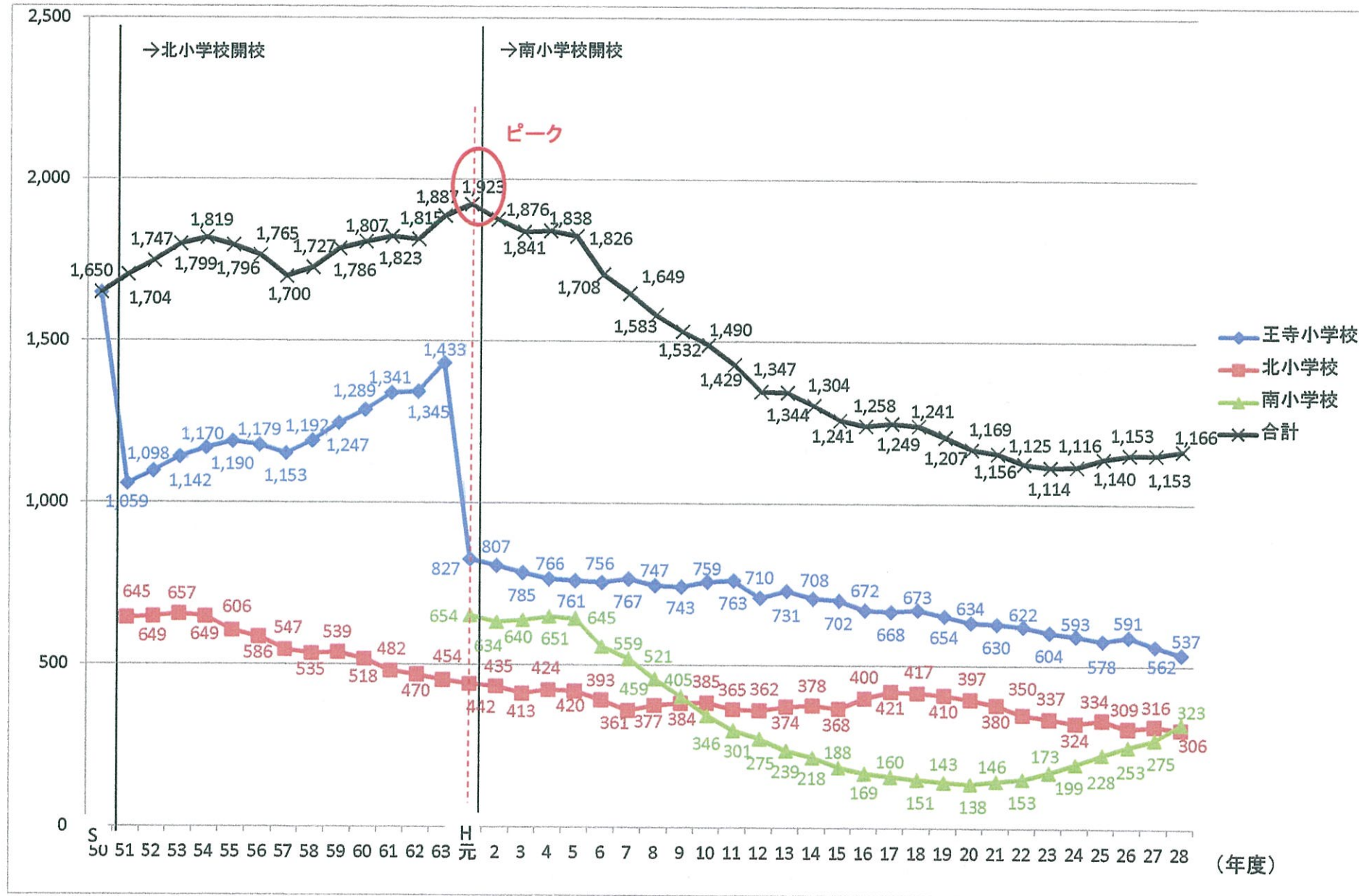
515人





# 各小学校の児童数推移(文科省 学校基本調査 毎年5月1日現在)

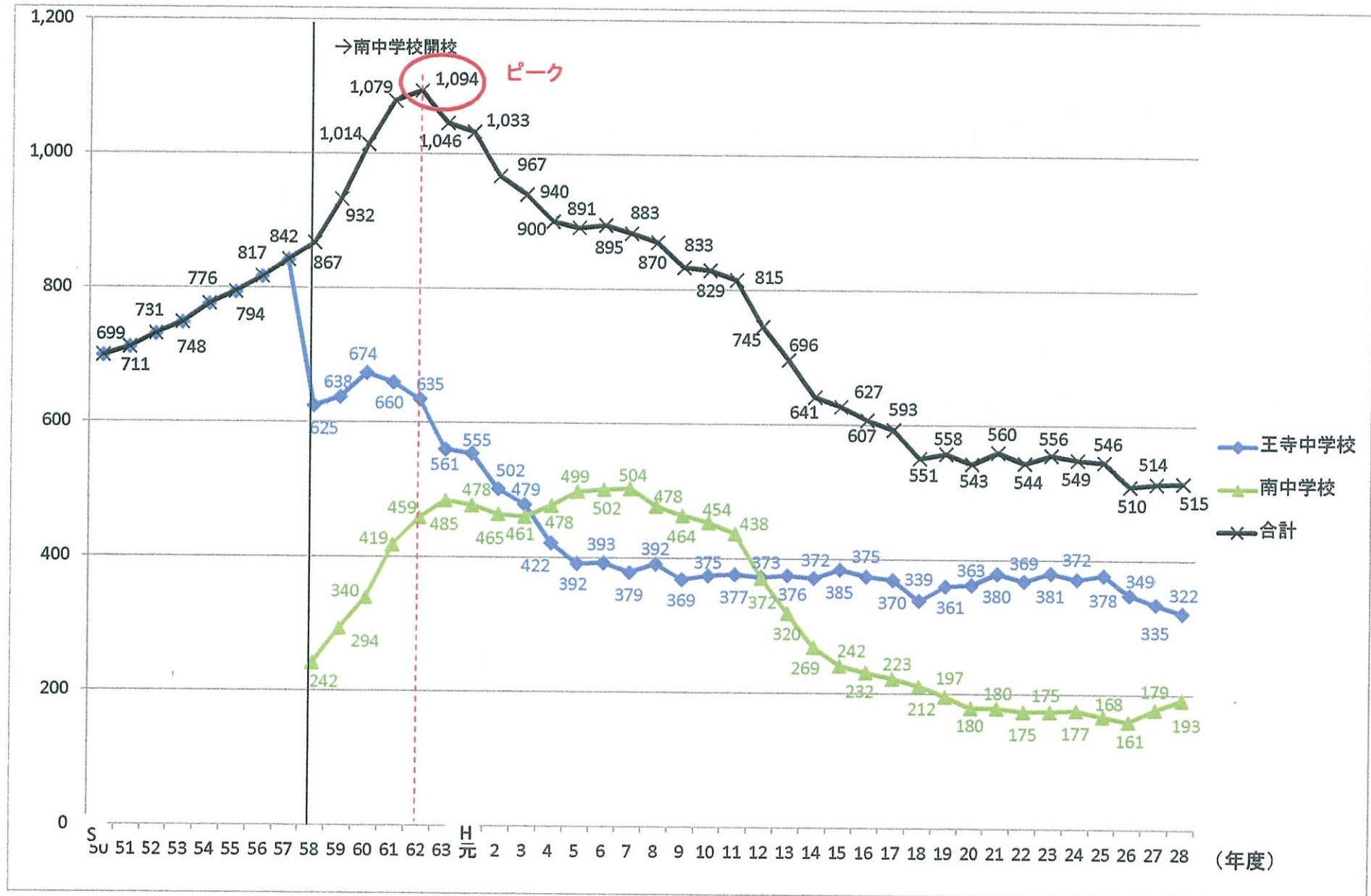
(人)





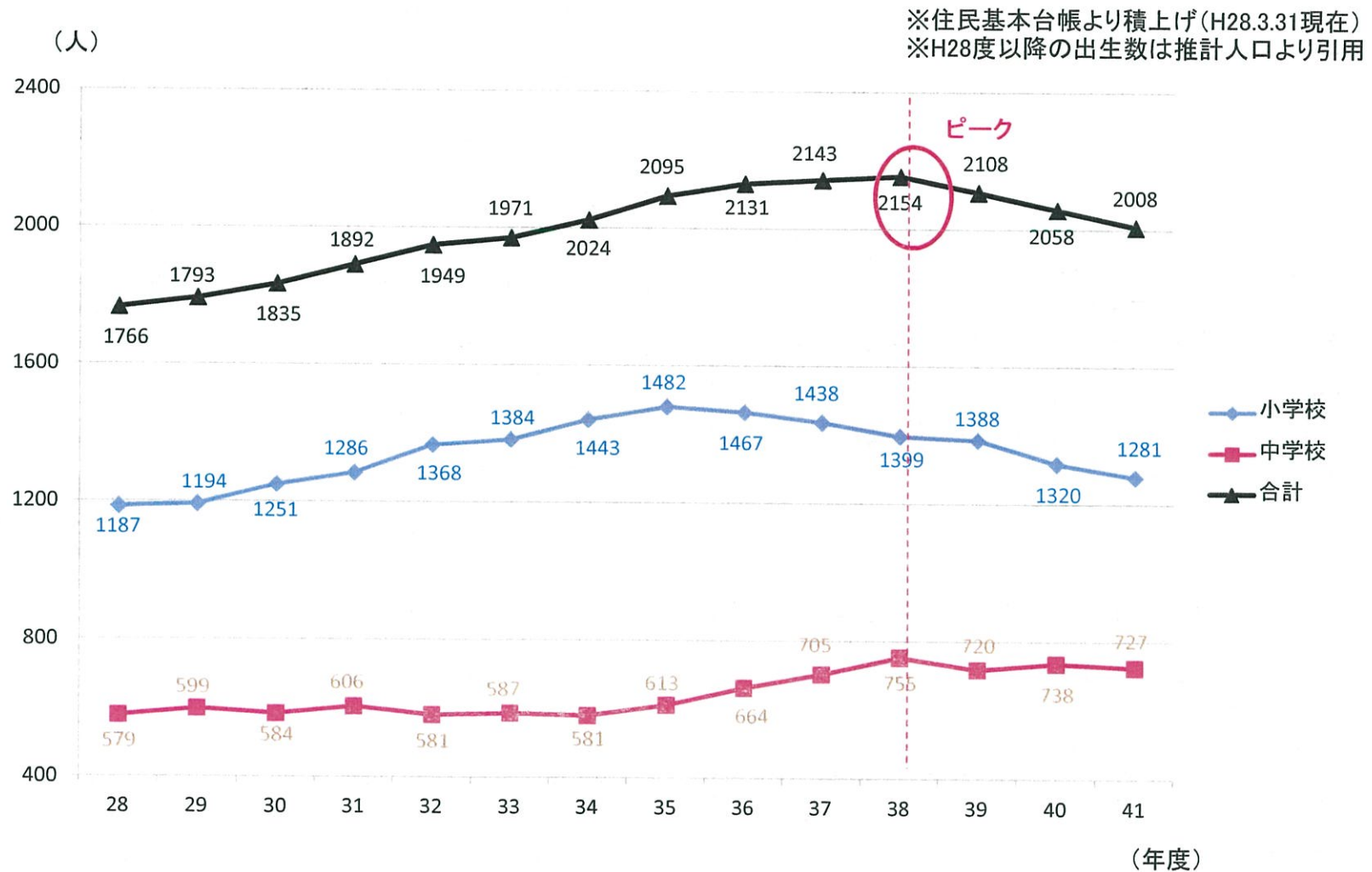
各中学校の生徒数推移(文科省 学校基本調査 毎年5月1日現在)

(人)





## 将来児童・生徒数推移





○王寺町立 小学校、中学校の主な棟別建築年次表

平成28年9月末日現在

| 校名     | 設立年月日                                            | 棟番号 | 棟名    | 建築年   | 建築後の経過年 |
|--------|--------------------------------------------------|-----|-------|-------|---------|
| 王寺小学校  | (M.7.8.14創設)<br>第3大学区<br>第14中学区<br>第48小学区<br>篤教館 | 001 | 1号館   | 昭和34年 | 57年     |
|        |                                                  | 002 | 2号館   | 昭和35年 | 56年     |
|        |                                                  | 003 | 1号館   | 昭和45年 | 46年     |
|        |                                                  | 004 | 2号館   | 昭和45年 | 46年     |
|        |                                                  | 006 | 3号館   | 昭和41年 | 50年     |
|        |                                                  | 007 | 3号館   | 昭和41年 | 50年     |
|        |                                                  | 015 | 体育館   | 昭和54年 | 37年     |
| 王寺北小学校 | (S.51.4.1設立)                                     | 001 | 北館    | 昭和51年 | 40年     |
|        |                                                  | 002 | 南館    | 昭和51年 | 40年     |
|        |                                                  | 005 | 体育館   | 昭和51年 | 40年     |
| 王寺南小学校 | (H.1.4.1設立)                                      | 001 | 管理教室棟 | 平成元年  | 27年     |
|        |                                                  | 002 | 体育館   | 平成元年  | 27年     |

| 校名     | 設立年月日         | 棟番号 | 棟名    | 建築年   | 建築後の経過年 |
|--------|---------------|-----|-------|-------|---------|
| 王寺中学校  | (S.22.4.22創設) | 001 | 北館    | 昭和39年 | 52年     |
|        |               | 002 | 南館    | 昭和43年 | 48年     |
|        |               | 008 | 南館    | 昭和47年 | 44年     |
|        |               | 014 | 南館    | 昭和53年 | 38年     |
|        |               | 013 | 体育館   | 昭和49年 | 42年     |
| 王寺南中学校 | (S.58.4.1設立)  | 001 | 管理教室棟 | 昭和58年 | 33年     |
|        |               | 008 | 教室棟   | 平成3年  | 25年     |
|        |               | 002 | 体育館   | 昭和58年 | 33年     |

…建築後40年以上経過している建物



## 第3章

# 王寺町の義務教育の方向性 について



## ○本年5月18日「義務教育学校設置検討懇話会」を設置

学識経験者や住民代表、計7名の委員により、今後の児童生徒数の見通しや学校の適正規模も視野に、学校施設の老朽化の現状も考慮しながら、本町の今後の義務教育のあり方について、様々なご意見をいただいた。その結果、**町内にある3小学校と2中学校の5校を2校の義務教育学校に再編・整備**する方向で議論を重ねてきた。

## ○義務教育学校整備案 北、南に1校ずつ義務教育学校を設置

19

王寺小学校、王寺北小学校、王寺中学校を統合 ⇒ 義務教育学校(北)

王寺南小学校、王寺南中学校を統合 ⇒ 義務教育学校(南)

## ○ 2校の義務教育学校の校区割案

義務教育学校の学級数の標準規模(18~27学級)  
※ 1学年あたり 2~3学級 (文科省)

|                              |                        | 平成28年       | ピーク<br>(平成38年) |
|------------------------------|------------------------|-------------|----------------|
|                              | 児童生徒数<br>(住民基本台帳H28.3) | 1,766       | 2,154          |
| ・ 現行の中学校区(王寺中学校、王寺南中学校)での校区割 | 王寺中学校区                 | 1,060 (3.4) | 1,082 (3.7)    |
|                              | 王寺南中学校区                | 706 (2.6)   | 1,072 (3.7)    |

H. 28. 5. 1  
実際の数  
(普通学級)

| 学校名    | 1学年あたりの<br>クラス数 |
|--------|-----------------|
| 王寺小学校  | 3.2             |
| 王寺北小学校 | 1.8             |
| 王寺南小学校 | 2.2             |
| 王寺中学校  | 3.3             |
| 王寺南中学校 | 2.0             |

上の表の左は児童生徒数  
右の( )書きは1学年あたりのクラス数

1学年あたりのクラス数が増えることで

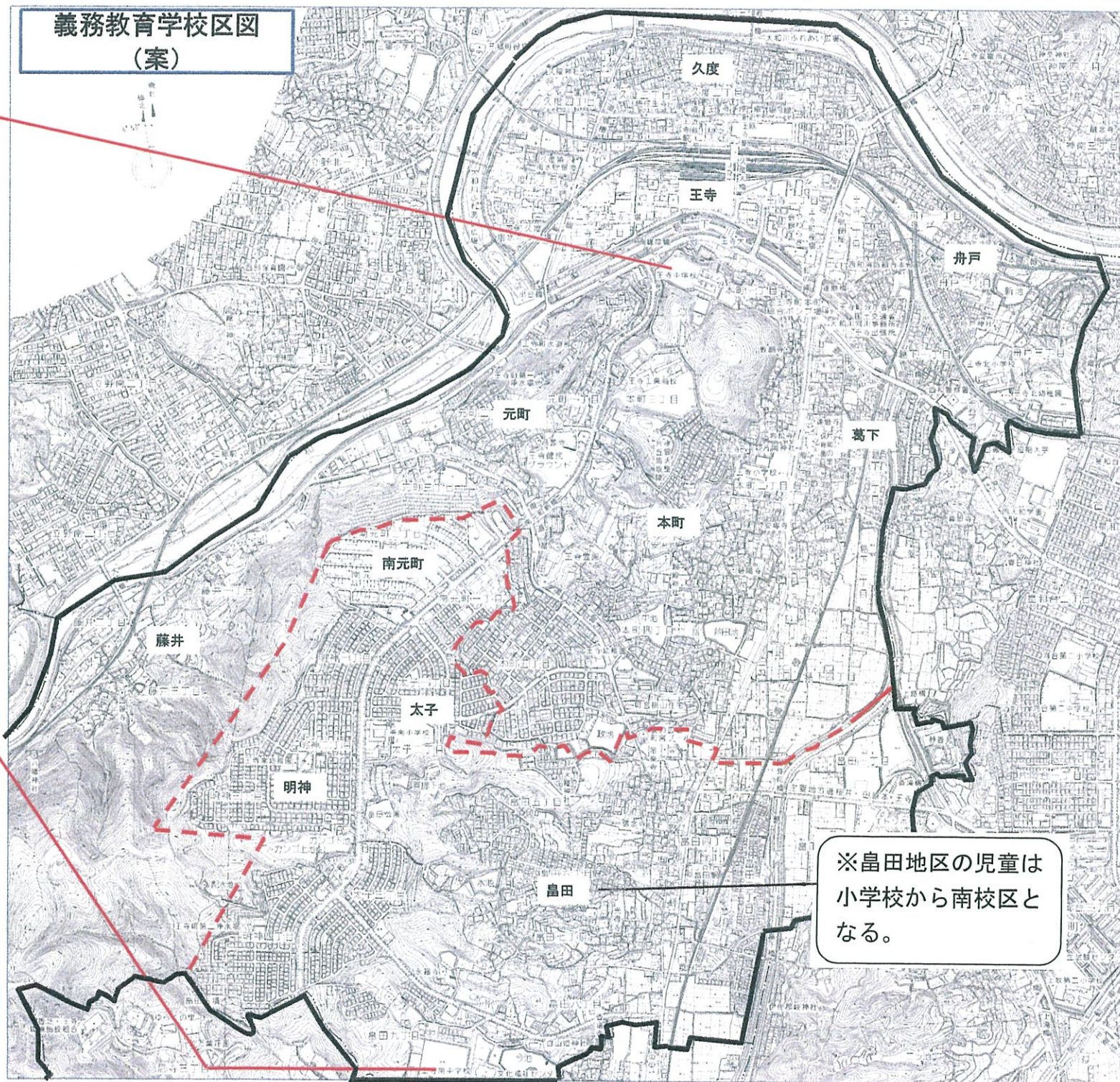
- ・ 人間関係の固定化が防げ、交流の範囲が広がる。
- ・ 切磋琢磨する環境で意欲や成長が引き出せる。
- ・ 集団活動・学校行事が容易になる。



義務教育学区図  
(案)

北校区

南校区

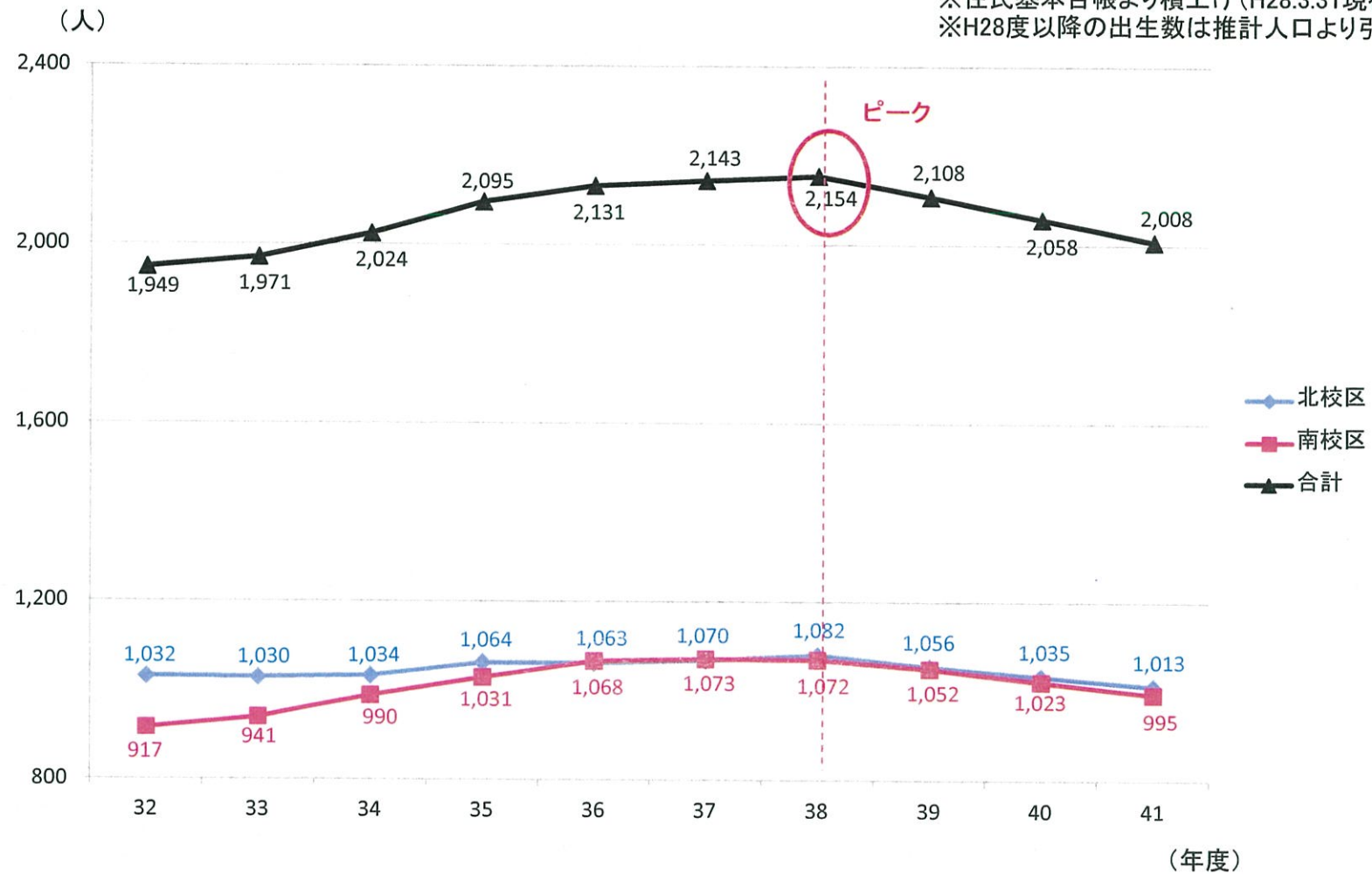


※島田地区の児童は  
小学校から南校区と  
なる。



## 義務教育学校児童・生徒数推移

※住民基本台帳より積上げ(H28.3.31現在)  
 ※H28年度以降の出生数は推計人口より引用





## ○王寺町にとって「義務教育学校」の設置は、

### ・ソフト面

心身の発達に応じて基礎的なものから9年間の一貫した教育など、子どもたちの成長の節目に配慮した教育課程を編成し、実施することで義務教育全体の質の向上が期待される。

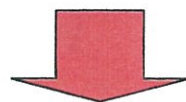
### ・ハード面

義務教育学校の設置に伴う新たな施設整備、改修により、施設の老朽化対策はもちろんのこと、エアコンの設置やトイレの環境改善などについても解決できる。

○義務教育学校の設置は、王寺町において、教育の質の向上はもちろんのこと、老朽化している施設を整備することにより、**未来を担う子どもたちに充実した学びの環境を提供できる。**

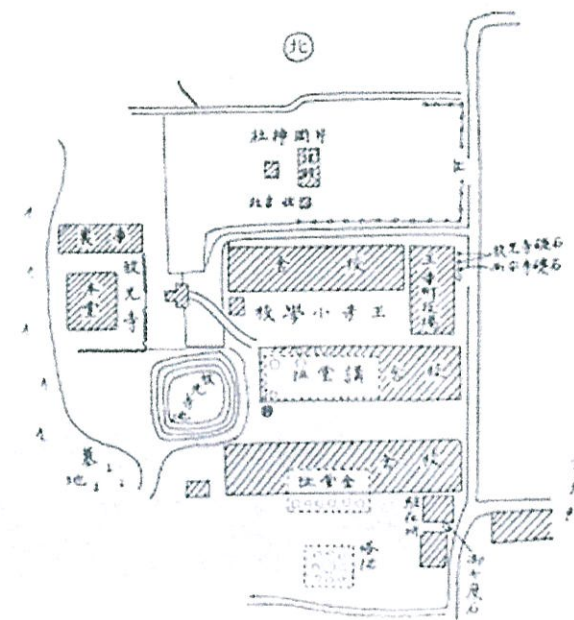
## 義務教育学校 建設候補地 ①

○歴史と伝統のある王寺小学校と王寺中学校は、義務教育学校建設の候補地であるが王寺小学校については、文化財保護法による埋蔵文化財包蔵地（飛鳥時代の片岡王寺跡）に認定されていることから、片岡王寺跡の保存及び活用について、王寺町文化財保護審議会に諮問した。



### 王寺町文化財保護審議会 答申（平成 28 年 10 月 17 日）

文化財保護法からいえば、片岡王寺跡を現地保存することで学校教育や生涯学習に活用するという方針も必要と思われる。そうすると、義務教育学校を別の場所に建設した上、現在の王寺小学校の敷地の発掘調査を実施して、遺跡公園などに整備できないかも検討することも必要であると考えられる。



片岡王寺の伽藍配置案（『大和上代寺院志』）



## 義務教育学校 建設候補地 ②

○南北の位置的バランスから

**義務教育学校(北) ⇒ 王寺中学校**

**義務教育学校(南) ⇒ 王寺南中学校**

**または 王寺南小学校**

**に整備できないか検討を進めていく。**